

## 令和5年度 白鳩チルドレンセンター八雲中事業計画

### 1. 概要

#### ①運営方針

- およそ3年もの間、我々の生活に様々な制限をもたらした新型コロナウイルス感染症は、ようやくマスクの着用基準が緩和され、感染症の分類も2類から5類に引き下げられることにより、コロナ前の活動に戻せるものもあるため、園にも子どもたちの明るい笑顔とそれに応える保育者の姿が戻ってくることは大変うれしいことである反面、感染症が撲滅したわけではないため、引き続き安心・安全を第一に運営を心掛けていきます。
- 守口市においては、本年度の1歳児2歳児の入園希望が昨年度までとは比較にならないほど多くの申し込みがあり、入園できない子どもが多数居り、守口市が市内各園に受け入れの拡充について協力を求める深刻な状況となっています。当園もできる範囲で協力して受け入れを進めます。
- 本年度から園長、主幹保育教諭が交代するほか、前年度末をもって当園でキャリアを重ねた職員が多く退職したため、法人内での人事異動と新規採用を行いましたので、保育の質の維持・向上を図るため1日に保育の流れを全員が理解できるよう内部研修を行います。
- 保育士不足により、0歳児定員12名のところ10名でスタートします。年度途中ででも職員採用ができ、需要があるようでしたら受け入れを行います。

#### ②利用定員 129名

利用児童数	1号認定	18名 (定員15名)		
	2号認定	73名 (定員63名)		
	3号認定	53名 (定員51名)	合計	145名

#### ③開園日数 293日 (日曜、祝日及び12月29日から1月3日は休園) 教育週数 42週

#### ④開園時間 平日7:00~20:00 土曜日7:00~19:00

#### ⑤保育時間

##### ★2号3号認定児

平日	早朝保育	7:00~8:30	土曜	早朝保育	7:00~8:30
	通常保育	8:30~16:30		通常保育	8:30~16:30
	延長保育	保育短時間児 16:30~20:00			16:30~19:00
		保育標準時間児 18:00~20:00			18:00~19:00

##### ★1号認定児

平日	早朝保育	7:00~8:30
	通常保育	8:30~13:30
	預かり保育	13:30~20:00

## ⑥職員数

園長 1名 主幹保育教諭 2名 看護師 1名 保育教諭 18名（うちパート5名）  
障がい児加配 保育教諭 2名（パート職員）  
子育て支援センター事業 保育教諭 3名（パート職員）  
延長保育事業 保育教諭 2名（パート職員） 一時預かり事業 保育教諭（パート職員） 1名  
預かり保育 保育教諭（パート職員） 1名 その他保育補助 3名（うち子育て支援員1名）  
学校内科医・学校歯科医各1名（各年2回検診実施）学校薬剤師1名（年2回検査実施）※嘱託

## 2. 教育保育運営

### ①教育・保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②教育・保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

### ③教育・保育目標

乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラス体制

（3号認定）

0歳児	10名	職員2名＋パート職員
1歳児	19名	職員3名＋障がい児加配パート職員1名
2歳児	24名	職員4名＋パート職員

（2号認定）（1号認定）

3歳児	25名	5名	職員2名＋パート職員1名
4歳児	24名	6名	職員2名
5歳児	24名	7名	職員2名

子育て支援センター	職員 3 名 (パートタイム職員)
早朝・延長保育	職員 2 名 (パートタイム職員)
保育補助者	職員 3 名 (パートタイム職員※うち 2 名子育て支援員)

## ⑤教育・保育内容

- 保育の仕方や子どもへの関わりについて「保育の一日の流れ」のマニュアルに沿って丁寧な関わりを行い、保育士が必要以上に言葉をかけず子ども自身が考え行動できるようにします。
- 配慮の必要な子どもや活動に集中できない子どもへは一人ひとりの発達にあった支援や環境を整え落ち着いて生活ができるようにします。
- 「朝の意味ある運動」や「夕方運動」を行い、脳内ストレスを発散し一日落ち着いて過ごせるようにします。また、身体をたくさん動かすことで、食事をしっかり食べ、十分に睡眠が取れる生活習慣を身に付け、生き生きと活動し自分の力が発揮できるようにします。
- 子どもの体力や運動能力が低下してきていることから園内での活動場所に限らず近隣の体育館を利用したり、散歩に出かけるなど子どもが十分に体を動かせる場所を考え、体力、運動能力の向上を目指します。
- 安田式遊具を使って「走る、転がる、とび跳ねる」の原野運動と「ぶら下がる、渡る、登る」の樹上運動をバランスよく取り入れた運動遊びを継続的に取り組み、多種多様な動きを経験することで脳神経の発達を促し、自分の身を守る運動機能を向上させます。
- 乳児期に大人との愛着関係を構築することが将来の心の安定につながることを考え、じゃれつき遊びの時間には、子どもの発することに受容的、応答的に関わりながら子どもも大人も人を愛し、信頼する気持ちを育てます。
- 乳児期からのリトミックの積み重ねが幼児期へとつながっていくという考えをもとに、子どもの発達に合わせて手先、足先、腕、脚、全身の筋肉をくまなく使い運動機能を高めます。また、リズム感や瞬発力を養います。
- 年間を通して「生き物」「水」など子どもの興味のあることをテーマに決め、テーマ保育に取り組みます。物事を考える力を養い、自分の考えを発表したり、新しい発見や自分で気づくことの喜びを感じることができる活動に年間を通して取り組みます。
- 栽培活動などの食育体験を生活の一部として日々の保育の中に取り入れていきます。五感を使って子ども達が様々な形で食にかかわる体験をすることで「食べるのが大好きな子ども」に育てます。
- 体育あそび、英語あそび、サッカー、歌唱、リズム音楽は外部講師に指導してもらいます。

## ⑥家庭との連携

- クラス懇談会 (年 2 回) 個人懇談会 (年 1 回) 就学前個人懇談会 (1 回)、保育参加 (年 1 回/人)  
リトミック参観 (乳児・幼児 年 1 回)
- 日々行っている保育の意図や内容について、お便りや写真入りの掲示物などで保護者が理解しやすい形で保育内容や行事の状況を情報発信します。

- 配慮が必要な子どもについては、家庭、関係機関（保健センター、わかくさわかすぎ園）と連携し、訪問支援事業や発達相談の機会を設けます。また、OT／PTの巡回指導を受けるなどきめ細かい対応を行います。4歳児で行われる5歳健診の結果については、保健センターと連携しながら発達相談につなぐなど就学に向けての取り組みを行います。

#### ⑦人材育成

- 3年目～5年目の職員をクラスリーダーに起用し、「保育の一日の流れ」をもとに次世代リーダーを育成します。クラス運営や保護者対応、職員同士の連携など園長、主幹保育教諭を中心に話し合いを行いリーダーとしてのスキルを身に付けます。
- 処遇改善手当Ⅱの支給対象者には、保育士キャリアアップ研修の受講を義務付けた上で処遇の改善と資質の向上を図ります。
- 職員会議やリーダー会議などで互いに意見を言う場をつくり、コミュニケーション力を高めます。
- 保育内容について職員全体で自己評価を行い、マニュアルや保育方法を見直します。
- リトミックについては、職員研修として外部講師を招き、新たな入職職員も含めて内容を理解し、子どもの指導に役立てます。
- 外部研修や内部研修を行い、雇用形態にかかわらずすべての職員を受講対象として、より多くの職員が参加して専門的な知識を身に付けます。
- 昨年問題となった「不適切保育」については、チェックリストやマニュアルを活用し勉強会を実施し、自身の保育を振り返る機会を設けます。
- 安田式遊具を用いた運動遊びについては、WEB研修の参加や講師を招いての研修会を行い、年齢発達に応じた運動あそびの指導法や集団遊びの進め方について学びます。学んだ内容については指導計画にとり入れ、保育者も一緒に体を動かし遊ぶことで、園全体が活性化するようにします。

#### ⑧地域の実態に対応した事業

- 地域子育て支援センター事業（センター型）
  - ・園内ホールを開放し、親子教室の開催や親子で楽しめる遊びや子育て支援に関する情報の提供をします。
  - ・親子ヨガや体育遊び、英語遊びなどの講師を招き親子で楽しむことのできるプログラムを実施します。また、保護者のみ対象の講座を定期的で開催します。
  - ・園内活動だけではスペースも限られているため近隣の北部コミュニティセンター体育館を使用して身体をしっかりと動かし親子で触れ合えるアクティビティを行います。
  - ・保育相談などを受付け、必要に応じて保健センターなど関係機関とも連携し子育て支援をします。
  - ・活動内容は毎月のおたより、ホームページ、守口市広報紙を通じて地域に情報発信します。
- 地域とのかかわり
  - ・守口市の伝統野菜である守口大根を地域の農業経験者の方から栽培指導をしていただき、一緒に栽培と育成をします。また、守口東高校の授業に当園職員が出向き講演をし、交流を行います。

- ・子どもの健康に関する情報交換や、子育てに関する相談業務を大阪旭こども病院と連携して行います。
- ・5歳児は就学先の小学校教員と就学に向けた意見交換する機会を持ち、スムーズな就学につなげ、子どもの育ちや生活や学びの実情について相互理解できるようにします。

#### ⑨苦情処理

- 第三者委員の設置について、入園説明会、園のガイドブック、ホームページや園内掲示、クラス懇談会（5月）を通じて保護者に知らせます。
- 「苦情申し出窓口」として主幹保育教諭が受付担当者、園長が責任者として、「意見箱」「アンケート」など保護者からの意見や要望に対しては24時間以内に回答します。また、対応途中のものに関しては途中経過を随時伝えます。

#### ⑩リスクマネジメント

- 危機管理委員会を中心に見直した「危機管理マニュアル」、「保健マニュアル」については、職員研修計画に基づき、園内研修で職員に周知徹底できるようにします。
- 消防署と連携し、総合災害訓練（年1回）、通報訓練（年2回）を行います。なお、避難・消火訓練は毎月1回以上実施します。
- 災害時の対応については、保護者にも重要事項説明書やクラス懇談会、ガイドブックで丁寧に伝えるとともに、災害を想定した引き渡し訓練（年1回）も行うなど、保護者と連携して災害時の対応に備えます。
- 非常時の園児受け入れ先として、近隣の企業や病院、介護施設に使用させていただけるよう依頼し、日ごろから連携します。
- 「安全管理年間計画」に基づき危機管理委員会が中心となり、安全管理と園児への安全指導を月1回実施します。
- ヒヤリハットの事例について収集し、危機管理委員会が事例をまとめ、毎月の職員会議の場で事例を共有し、事故防止に役立てた上で事後の改善策の立案をします。
- 6月に園内で日本赤十字社の救急救命講習を実施します。職員が参加し、緊急時の対応に備えます。また、SIDS（年2回）やアレルギー対応〈エピペン〉については、看護師が中心となり研修を行います。
- 備蓄品リストをもとに災害備蓄品の点検（年1回）を行います。（園児引渡表・非常持ち出し袋・倉庫備品・アレルギー児用備品など）
- 警察機関と連携して職員への防犯実施研修（年2回）園児への防犯指導（年1回）を行います。

#### ⑪大型工事等修繕及び備品購入の予定

- ・現在のところ工事・修繕の予定はありませんが、緊急で実施する場合があります。
- ・電子ピアノの購入 660,000円

⑫その他

- 人材確保のために、民間企業や守口市認定こども園会が主催する保育士対象の就職フェアへ出展し、新卒学生の採用に繋がりたいと考えます。